

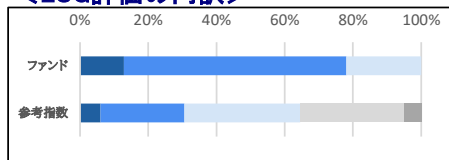


<組入上位20銘柄のESG格付け>

順位	銘柄名	国	業種	構成比(%)	ESG格付け
1	マイクロソフト	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.3	ポジティブ
2	イーベイ	アメリカ	小売	4.9	ポジティブ
3	ダナハー	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	4.4	ポジティブ
4	イートン	アメリカ	資本財	4.3	ポジティブ
5	アルファベット	アメリカ	メディア・娯楽	3.9	ニュートラル
6	サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.9	ポジティブ
7	マスターカード	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.7	ポジティブ
8	エコラボ	アメリカ	素材	3.7	ポジティブ
9	ノボ・ノルディスク	デンマーク	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.6	コミット
10	アドビ	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.5	ポジティブ
11	ヴェスタス・ウィンド・システムズ	デンマーク	資本財	3.5	コミット
12	オーステッド	デンマーク	公益事業	3.5	コミット
13	台湾セミコンダクター	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.4	ポジティブ
14	シムライズ	ドイツ	素材	3.3	ポジティブ
15	ローパー・テクノロジーズ	アメリカ	資本財	3.1	ニュートラル
16	エヌビディア	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.9	ポジティブ
17	アディエン	オランダ	ソフトウェア・サービス	2.9	ニュートラル
18	ビザ	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.8	ニュートラル
19	AIAグループ	香港	保険	2.5	ニュートラル
20	アプティブ	アメリカ	自動車・自動車部品	2.4	ポジティブ

※構成比はマザーファンドの現物株式ポートフォリオに占める比率。
 ※業種はGICS(世界産業分類基準)に基づく24産業グループです。
 ※ESG格付けは、ミローバがESGに関して5段階(コミット、ポジティブ、ニュートラル、リスク、ネガティブ)で評価しています。ESG評価がリスクとネガティブの銘柄は投資対象外になります。

<ESG評価の内訳>



コミット/ポジティブ
評価の割合
 < 78.1%
 < 30.6%

※参考指数はMSCI KOKUSAI INDEX(ドルベース)です。(以下同様)
 ※上記グラフにおける参考指数は、INDEX構成銘柄のうち、ミローバ社がカバーしている銘柄(ミローバ・カバー率98%)の内訳を示しています。

SDGsへの取組み - ミローバの評価

- コミット - SDGsの目標達成に向け、非常に有利に貢献している
- ポジティブ - SDGsの目標達成に向け、積極的に貢献している
- ニュートラル - SDGsのいくつかの目標達成に向け適切に対応しているが、インパクトは小さい
- リスク - SDGsの目標達成を妨げる
- ネガティブ - SDGsの目標達成に強く反する

<カーボン・フットプリント>

グローバルな気候温暖化へのインパクト(ミローバ、カーボンフォー社による推計)

	ファンド	参考指数
	1.5°C	3.6°C
投資先のCO2排出量 (投資金額100万ユーロあたりのCO2)	45.2	95.1
投資先のCO2削減量 (投資金額100万ユーロあたりのCO2)	30.3	10.5
ミローバ・カバー率	100%	95%

※上表の分析はミローバとカーボンフォー社が共同開発したカーボン・インパクト分析(CIA)に基づく推計データによるものです。
 ※上表における投資先のCO2排出量とは、対象企業の製品、サービス等の全ライフサイクルを考慮した排出量を分析・計測したものです。
 ※投資先のCO2削減量とは、対象企業の製品、サービス等(エネルギー使用)の効率化による削減効果や各種グリーン・インパクトによる削減効果を分析・計測したものです。
 ※カーボンフォー社は環境課題の評価・分析を専門とするコンサルティング会社であり、気候変動へ積極的に取り組むフランスの金融機関などと共同で分析手法を開発しています。

<SDGsへの貢献-コミット/ポジティブの評価>

項目	ファンド	参考指数
環境		
気候の安定 温室効果ガスの排出を制限し、世界の気温上昇を2°C以下に安定させる	35%	19%
健全な生態系 自然と人間ののために、陸と海における望ましい自然環境を維持	29%	9%
資源の維持確保 天然資源の効率的利用、循環利用をすることによる資源保全	29%	7%
社会		
基礎的ニーズ 世界のすべての人々に食糧、水、エネルギー、家、衛生、通信、輸送手段、金融と健康を	18%	9%
健康と福祉 世界のすべての人々に、より良い健康、教育、司法および機会均等を	31%	14%
労働環境 世界のすべての人々に安定した、皆が差別なく尊厳を持って働ける、健全な労働環境での仕事	24%	10%

※上表の数字(%)は、各銘柄について、上表6項目毎にミローバのESG5段階格付けを付与し、各項目において上位格付けである「コミット」あるいは「ポジティブ」が付与された銘柄の割合を示したものです。従いまして、上表数字の合計は100%になりません。

※ミローバより入手した情報を元に作成

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、実質的に当ファンドが投資する「ミローバ・グローバル・サステナブル株式マザーファンド受益証券」のESG評価をご参考までに作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本は保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性を約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。



■投資リスク

ファンドは値動きのある有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の値動きなどの影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、これを割り込むことがあります。ファンドは預貯金と異なります。
信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」、「カントリーリスク」などがあります。

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用

◆ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額 ※詳しくは、販売会社へお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.1% の率を乗じて得た額

◆ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に 年1.804%(税抜1.64%) の率を乗じて得た額
その他の費用・手数料	以下の費用などがファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 ・ファンドの監査費用(ファンドの日々の純資産総額に年0.011%(税抜0.01%)の率を乗じて得た額。ただし年44万円(税抜40万円)を上限とします。) ・有価証券売買時の売買委託手数料 ・先物・オプション取引等に要する費用 ・資産を外国で保管する場合の費用

※ ファンドの費用(手数料等)の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。